

若手ドライバーインタビュー（互助交通有限会社）

今回はロンドンタクシーや痛車など、他のタクシー会社にはない、ユニークな取り組みを行っている互助交通さんの若手ドライバーのお二人にお話を伺いました。



岩橋さん
26歳 入社5ヶ月目



宇都宮さん
24歳 入社1年目（乗務経験は2ヶ月）

■ タクシードライバーを目指したきっかけは何ですか？

宇都宮さん 運転が好きということもありましたが、大学でデザイン系を学んでいたもので、それを続けつつ、できる仕事ということでタクシードライバーにたどり着きました。

岩橋さん 前の仕事を辞めてから次の仕事を探していたところ、一人で気軽にできる仕事ということでタクシードライバーを選びました。

■ タクシー業界にはどんなイメージを抱いていましたか？

宇都宮さん 体力的にきつそうだけど、頑張った分だけ評価される（給料があがる）というイメージをもっていました。採用前後でそれほどギャップはないです。

岩橋さん 宇都宮さんと同じようなイメージを持っていましたが、思っていたよりきつい仕事ではなかったですね。

■ 仕事中に心がけていることは何ですか？

宇都宮さん スムーズに、不快にさせずに気持ちよくお運びすることです。運転技術は勿論大事ですけど、たとえ道が分からなくても接客でカバーできる部分は非常に大きいと思っています。

岩橋さん やはり接客をしっかりとすることですね。

■ 仕事でのやりがいとか、嬉しかったことを教えてください。

宇都宮さん 私はペーパードライバーだったので、運転面で褒められると嬉しいです。お客さんに「こんなに早く着くなんて運転好きなんですよ、スムーズでよかったよ」とか言われると、タクシーってこういうためにあるんだと思います。

岩橋さん 道とか行き先が分かるようになってくると、普通にやっているだけで感謝されたりして、意外といい人が多いんだなって嬉しく思います。チップをくれたりする人もいますしね。

■ 今後の目標や将来のビジョンがあれば教えてください。

宇都宮さん 乗務に慣れてきたら、絵のデザインもやってみたいです。タクシーの中で美術館みたいな。美術館まではいかなくても雑誌のような画集を作って、気づいた人が見てくれるというようなこともしてみたいと思っています。

岩橋さん 売上をよくして、遊ぶ（笑）



営業所の壁に描かれた宇都宮さん作のデザイン

■ **ドライバーを目指している方へのメッセージをお願いします。**

宇都宮さん 休日も多く、やりたい事を探しながら働けるところが魅力です。乗務中に様々な人達と関わるので、自分のアプローチ次第で次の機会を見つけることもできると思います。

岩橋さん 楽ではないけど、上から何か言われたりせず、自分で1日1日の仕事を組み立てるところが気に入ってます。お客さんに「ドライバーってどうですか」と聞かれたときにも、結構いい仕事ですよとお勧めしています。



岩橋さんと宇都宮さん 痛車の前で